

IPv6と潮目

IPv6 Summit in TOKYO 2023

パネルディスカッション「激変するデジタル社会とそれを支えるIPv6」

2023年11月22日

JPNIC

前村 昌紀



一般社団法人 日本ネットワークインフォメーションセンター

Copyright © 2023 Japan Network Information Center

祝 APNIC 30周年！

<https://www.flickr.com/photos/apnic/> CC BY-NC-ND 2.0 Deed



▶▶▶ AFRINICとAPNICがなぜ心配されるのか

現在ICANN+RIRs一丸となって対応中です

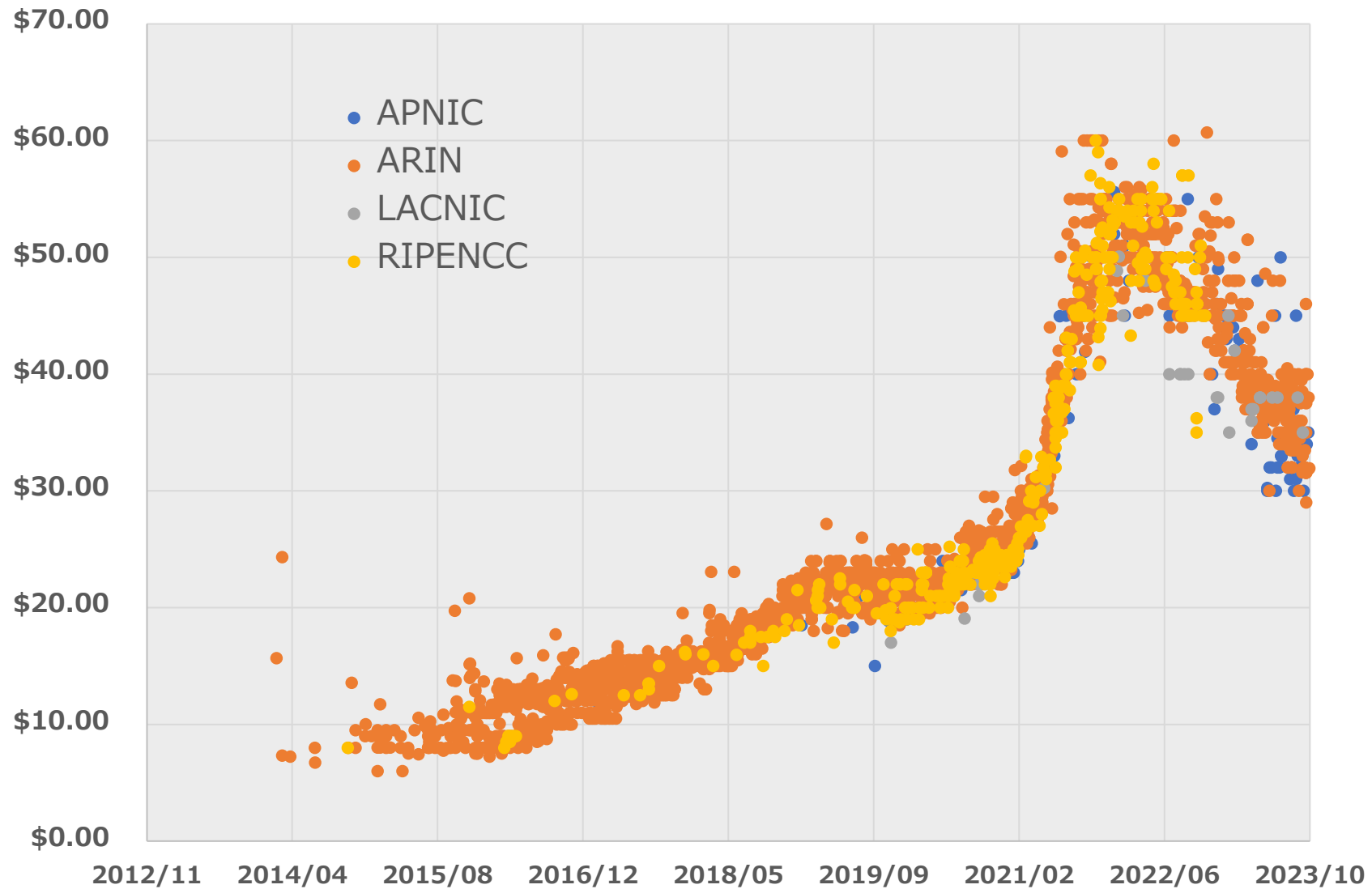
AFRINIC (2020～)

IPアドレスポリシーに従わず、割り振りを受けたアドレスブロックを他地域を含む需要者にリースしていた事業者
ポリシーと契約への違反として会員資格を停止しようとしたら、多数の訴訟に持ち込まれ、一部差し止め請求が受理されたことで理事会が意思決定できない機能不全状態に

APNIC (2022～)

この事業者が2023年APNIC理事選挙に多数派確立に向け6名の候補者を立て、選挙違反を含む激しい選挙戦を展開。結果的には現任グループが当選して体制維持

▶▶▶ IPv4アドレスオークション落札価格推移



IGF京都2023



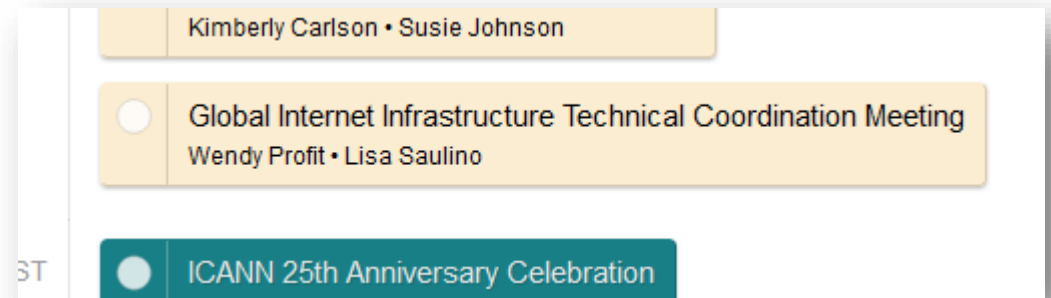
Global Internet Infrastructure Technical Coordination Meeting

<https://icann78.sched.com/event/1T4IZ/global-internet-infrastructure-technical-coordination-meeting>

2023/10/25(水) 16:00CET

事前の資料、ドラフト文書など一切なく、セッションタイトルだけが提示されて議論を開始

https://static.sched.com/hosted_files/icann78/48/TRANSC_I78HAM_Wed25Oct2023_Global%20Internet%20Infrastructure%20Technical%20Coordination%20Meeting-en.pdf



▶▶▶ まとめというか問いかけ

IPv4希少性に対する有効な代替になるには
TCP/IP 50年、IPv6 28年、十分に古い技術ではないか？

IPv6に対する新たな期待や要請とは何か
AIやメタバースは圧倒的な計算需要とともに通信需要を
引き出すのか？

アクセスやインフラ側の対応は良好
サービスやアプリケーションはトリクルダウンで潤って
いないのか？



ありがとうございました

IPv6と潮目

IPv6 Summit in TOKYO 2023

パネルディスカッション「激変するデジタル社会とそれを支えるIPv6」

2023年12月12日

JPNIC前村

